

# 富士宮西ロータリークラブ会報 Rotary



国際ロータリークラブ第2620地区 2022-2023年度

RI 会長 ジェニファー・ジョーンズ

会長 矢部 英樹 幹事 石川 俊洋

朝霧アリーナより

矢部英樹会長

例会場 ゲストハウス フォレストヒルズ 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間  
事務所 〒418-0034 静岡県富士宮市黒田 205-1 フォレストヒルズ内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>  
TEL 0544-22-8899 FAX 0544-22-7666 Mail [fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp](mailto:fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp)

## No.13 通算 1503 号 2022 年 10 月 14 日(金)

### ゲストビジターの紹介

**ゲスト** :ロータリー財団 平和フェロシップ・  
学友小委員会 委員長/富士山吉原 RC  
曾根真人 様  
**ビジター**:株式会社カボス 小山 尊彰 様

### 会長挨拶 会長 矢部 英樹 君

本日の例会ですが、私の所用に付きまして例会への出席が出来ませんので、会長挨拶文を事前に石川幹事に預託しましたので、代読を宜しくお願いします。

さて本日の例会におきましてはクラブ協議会として、外部からの卓話をロータリー財団委員会担当して戴き、卓話ゲストとしロータリー財団平和フェロシップ・学友小委員会より委員長の曾根真人氏(富士山吉原ロータリークラブ 所属)にお忙しい中お越し戴いております。ロータリアンとして皆様も一度は聞いたことが有る名称ですが、実際にどのような活動を具体的にどの程度奉仕実施されているのか、はっきりと解らないのが現状だと思います。今回、私達富士宮西ロータリークラブ会員の皆が、少しでも専門的な知識を深めることが出来る機会を戴けただけに、一つでも昨日よりロータリアンとしての知識を増やせますよう、曾根様宜しくお願いします。

コロナ禍から見受けられます感染問題による生活の変化、ロシアに因るウクライナへの侵略的戦争行為、これらは世界情勢もさることながら、個人個人の生活にもかなりの影響が及ぼされていることも事実です。こんな時だからこそ一人一人のロータリアンが立ち上がり奉仕の精神で、一人でも多くの人々が幸せになりますよう、今回の曾根様の卓話で何かを得て戴きたい

と思います。

「イマジンロータリー」想像してみてください。少しでも私たちの奉仕の心が誰かを救うことが出来ることを、心の中で各自が考えてより良い一歩となりますよう踏み出しましょう。

曾根様、未来のロータリーに向かって、奉仕の精神の育成に向かって、卓話を宜しくお願ひします。

### 幹事報告 幹事 石川 俊洋 君

別紙幹事報告を参照ください

### 出席報告

☆は出席免除者

欠席者：☆外木規之 仲亀秀樹 渡邊奈津実  
渡辺弘光

	会員数	計算会員数	出席	欠席	M U	比率
今週	25	24	21	3	0	87.5%

### スマイルボックス

\*曾根様 本日はありがとうございます。よろしくお願ひいたします。

若林眞治君

\*15日(土)、16日(日)市役所前で絵のまな板を売っています。

片岡博昌君

\*暑かったり寒かったり、体調には気を付けましょう。

早川英寿君

\*ロータリー財団 委員 曾根様 来訪ありがとうございます。

岡村吉彦君

【会報委員会】 委員長：石田道彦 委員：片岡博昌 齊藤邦男 大谷裕也 岡村吉彦

## お祝い・記念日



会員誕生日：	早川英寿君	S59. 10. 29
結婚記念日：	後藤憲治君	S55. 10. 19
	加藤康雄君	S54. 10. 27

## 本日のプログラム

### 【ロータリー財団卓話】

担当：第 2620 地区 ロータリー財団委員会委員  
平和フェロシップ・学友小委員会  
委員長 曾根真人 様

### 『私とロータリー財団』

私が初めてロータリー財団と関わったのは 1970 年、今から 52 年前になります。多分皆様の中でこの時、会員方はおられないと思います。

当地区（当時は 359 地区と言って、神奈川県も一緒でした）で初めて G S E（研究グループ交換）が実施され、それに参加したが始まりです。

そのころ私は都市ガス製造工場で三交替の工員でした。

いきなり当時の会長から『ロータリーで新しいプログラムが出来たので、これを受験してこい』と言われました。初めての事業で、当の会長も中身はほとんど説明されず、横浜のシルクホテルで試験を受けることになりました。

幸い合格し、ロータリアンの団長と私を含め 6 名の若い青年が 6 週間アメリカとカナダにまたがる国際地区へ派遣され、ロータリアンのお宅にお世話になり、

その地区のいろいろなものを見学・体験する機会を得ました。

帰国後、地区のロータリー財団学友会のメンバーに登録され、活動をしておりましたが、1974 年に神奈川県が独立し、当地区は今の 2620 地区になりました。地区が分割されたため、私たちの学友会も分割され、新たに『山静学友会』が創立されました。

1991 年（31 年前）に当時の吉原 RC へ入会することが出来ました。入会まもなく、内藤ガバナーからお声がかかり、地区のロータリー財団委員会へ出向することになりました。爾来 28 年間、委員を務めております。その間、ロータリー財団委員長を 2 期 6 年間務めましたので、何か機会に皆様方とお目にかかっているかと思えます。

本題に入りましょう。

ロータリー財団の存在とその活動を理解するには、ロータリーの目的を正確に理解できなければなりません。

さて、ロータリーの目的はなんでしょうか。親睦でしょうか、奉仕でしょうか。

### ロータリーの目的の第 1

The development of acquaintance as an opportunity for service.

これまでの訳：奉仕の機会として知り合いを広める

変更された訳：知り合いを広めることによって奉仕の機会とする

この日本語訳の変化をどうお考えになりますか。

ロータリーは奉仕する団体であることを前提にしないと、ロータリー財団の存在及びその活動は理解できません。

奉仕活動を行うには資金が必要です。地域的な小さな奉仕活動なら、クラブの資金範囲で賄うことが出来るでしょう。しかし、それでは大掛かりなプロジェクトはできません。

ロータリー財団は『世界で良いことをしよう』と創立され、皆様から寄付という形で資金を集め、奉仕活動をしよとするクラブへ再配分するのがその使命で

す。

「財団の寄付が何に使われているか分からない」ということをよく耳にします。それはそのクラブが奉仕のための資金をロータリー財団に求めていないからです。皆様が寄付されたお金は皆様の活動のために生かされています。

例えば、過去の例ですが、このクラブから中楯有起と宇野かおりさんの2名の奨学生を出されています。一人の奨学生に3万ドル（350万円）位かかります。お二人で6万ドルの補助金を利用されています。

昨年度、このクラブは年次寄付として\$3,608 寄付されました。つまり、このお二人に16年間分の寄付に相当する金額を利用されているのです。

寄付というと、出したあと何に使われているかあまり関心はないようですが、ロータリー財団への寄付は一般の寄付とは違います。

無尽ということばを存じでしょうか。財団への寄付はこれに似たようなものです。皆さんがお金を出し合い、それを必要とするが利用する。決して外に出てゆくものではありません。

奉仕活動をしようとすればするほど、ロータリー財団の存在をありがたく思えて来ます。

『ロータリー財団への寄付と奉仕活動は車の両輪』と言われるのはここにあります。

